

玄海原子力発電所に関する取組みの概要

1. 玄海原子力発電所の安全性の確認等

(1) 玄海原子力発電所の安全性の点検

玄海3/4号機においては、再稼働を迎えるにあたり万全を期すため、追加配備した安全性向上対策の機能や運用面に係る国の検査及び長期停止状態を踏まえた点検とは別に、今後の地震に更に備えるため、玄海の特性を踏まえた、より入念で網羅的な点検項目を付加した予防保全的な「特別点検」を実施します。

○総合設備点検

1次系設備、2次系設備、電気設備、制御設備、及び建物等の設備全般に対して、目視又は今後の地震に備えた設備の健全性確認結果を用いた点検

○総合設備点検に追加して行う点検

以下の項目は、上記の総合設備点検に追加して入念に行う点検

- 原子炉容器の点検
- 格納容器の点検
- 使用済燃料ピットの点検
- 低レベル放射性廃棄物保管容器の固縛状態の点検
- ポンプ等基礎ボルト及び配管支持装置の点検
- 原子炉の安全確保の機能を持つ設備の作動試験
- 原子炉停止用地震計等の点検
- 非常用電源装置や給水装置などのバックアップ設備の点検又は作動試験
- 緊急時の通信に使用する通信機器の点検及び機能確認
- モニタリングステーション・ポストの点検
- 玄海原子力発電所の特性を考慮した点検
 - ・プレストレストコンクリート製格納容器の点検
 - ・MOX燃料保管状況の点検
 - ・復水ピット・燃料取替用水ピットの点検
 - ・重大事故等対処設備保管庫の点検
 - ・警備施設の点検

(2) 玄海原子力発電所周辺の地震観測体制の強化

発電所敷地周辺の広い範囲での地震活動状況を把握するため、敷地周辺30km圏を中心に、新たに21箇所程度の地震観測点を設置する予定です。今後、より広域的な観点で、他機関地震計の密度が低い場所（佐賀平野北縁断層帯周辺等）への配置も検討していきます。

2. 自治体の避難計画に対する支援体制の強化

UPZ圏内の自治体への福祉車両の追加配備やPAZ圏内の周辺住民の避難道路へのアクセス道路の改善等、以下について支援を強化します。

- ・ 専門家研修等による社員の避難支援スキル向上、PAZ圏内の高齢者の避難支援体制の整備
- ・ UPZ圏内の自治体への福祉車両の追加配備
- ・ 当社備蓄物資（食料、飲料水、毛布）の避難所等への支援
- ・ PAZ圏内住民の避難道路へのアクセス道路等の改善支援

3. 県民の皆さまの安心に向けた情報発信

発電所の状況について、以下のとおり、迅速かつ正確で分かりやすい情報発信を実施します。

- ・ 万一の事故や異常事象発生時の迅速かつ確実な連絡
- ・ 九州地域で震度4以上の地震が発生した場合、発電所の状況等を当社ホームページ等で情報発信
- ・ 発電所内の広報用地震計が地震を観測した場合、震度に関わらず、観測データをリアルタイムで当社ホームページに公表
- ・ 特別点検の実施結果を当社ホームページ等でお知らせ
- ・ フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動の継続実施

以 上